

(案)

**Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会**  
**白書分科会(第 21 回)／**  
**周波数作業班(第 5 回)／ビジョン作業班(第 31 回)／技術作業班(第 22 回)**  
**議事要旨**

1. 日時： 2023 年 1 月 24 日(火)15:00～16:40

2. 場所： ウェブ会議(Webex)

3. 出席者：

中村主査(NTTドコモ)

周波数作業班：本多リーダー(エリクソン)

ビジョン作業班：小西リーダー(KDDI)、永田サブリーダー(NTTドコモ)

技術作業班：中村リーダー(富士通)、下西サブリーダー(NEC)

WP5D 対応 Ad hoc：菅田主査(KDDI)、武次副主査(NEC)

ほか、通信事業者、メーカー等、計 61 名

(事務局)

総務省移動通信課 新世代移動通信システム推進室 増子室長、宗正様、杉山様

ARIB 加藤 他 6 名

4. 議事要旨

(1) 前回(#20)会合議事要旨

前回白書分科会(#19)議事要旨案につき 1/23 展開、2/10 までのコメントを依頼。  
ビジョン作業班(#29)議事要旨案につき特にコメントなく確定。

(2) WP5D 対応 Adhoc

武次副主査より、資料 03-1「ITU-R WP5D 第 43 回会合に向けた対応案 (above100 関連)」に沿って、次回 WP 5D 会合への準備状況の説明がなされた。  
特に質疑は無かった。

小西リーダーより、地上業務委員会でのコメント内容について質問がなされ、  
武次副主査より3つの資料それぞれエディトリアルな指摘があったと回答がなされた。

菅田主査より、資料 03-2「for WP5D#43 Vision 関係概要」に沿って説明がなされた。

小西リーダーより、カバレッジに関して、数値的に示すのが難しいため、定性指標に追加したのか質問がなされ、菅田主査よりその通りであると回答がなされ、  
更に Usage Scenario と Capability が密接にかかわっており、Capability に入れ込むのが難しいと判断し、定性指標に記載したと回答がなされた。

(案)

クアルコム城田氏より、Reliability の数値  $1-5 \times 10^{-5}$  の算定過程について質問がなされ、菅田主査より、資料 03-1 の Reliability の試算一覧のページを用いて説明がなされた。

### (3)ビジョン作業班

小西リーダーより、資料 04「白書 2.0 版の作成に向けて」に沿って説明がなされ、P.1「2.0 版の作成に向けた主なマイルストーン」について、2/28 までのスケジュールが確認された。日本語文章は、完成し、英語文章に取り掛かっている。英語版は、1/25 までにレビューを完了すること。翻訳業者に依頼するものは、2 月中旬納期を目指す予定。2/28 までに概要版(PPT)の日英版の作成を完了する。

次に、小西リーダーより、ユニアデックス 小椋氏に 2.0 版の概要版(PPT)で、協力いただけることになった旨、紹介があった。具体的には、全体の体裁を揃えたり、言い回しを揃える等、主に Editorial な面で改善すべき点を洗い出していただく。

ユニアデックス 小椋氏から、以下の基本形(資料 P.4-10)に従って、可能な範囲で修正を検討して欲しい、との依頼があった。負担が大きければ、必須ではない。

■基本形： 箇条書き(数字なし)。見出し文は、箇条書きにはしない。見出し文はセンタリングする。単語の途中で切れないように改行する。強調色は、本文も含め赤色を使用する。囲みは実線・3pt。基本は、青を基調にする。句読点は「、。」の組合せを使用。

クアルコム内野氏： 4.5 節 メディア について、2ブレットで左寄せにしているが、1ブレットでセンタリングした方が良いか。 →小椋様：今のままで良い。

クアルコム内野氏： 青を基調にすることとのことだが、青以外違ったらダメということか？ →小椋様：可能ならなるべくそれに合わせた方が良いが、負担が多いようだと今のままで良い。

住友電工 宮田氏： 皆様に各社チェックのお願いをしているが、ドコモ 栗田様の文をマージさせていただく。明日の夜 8 時が切で、その後作業させていただく。マージ版の場所が変わっていた。ステータスファイルとマージ版のファイルが僕のアナウンスと別の場所になっていた。新しいフォルダをご連絡したので、そちらを見て欲しい。

KDDI 小西リーダー： ファイルが無いなどの異常を見つけたら、周知して欲しい。

住友電工 宮田氏： 今後は、いったん自分の PC にダウンロードして、修正履歴を全てクリアしてから、修正履歴付きで修正し、その後アップロードして欲しい。

(案)

事務局 加藤氏: エディター、宮田様には感謝している。Word 日本語版は、1/27 までに完成で、その後手を入れないで欲しい。その後、ARIB 事務局で番号を振る等の作業に入る。

小西リーダー: 了解した。決定事項とする。

#### (4) 技術作業班

中村リーダーより、資料 05「技術作業班会合資料」に沿って説明がなされ、議論が進められた。主な質疑は以下の通り。

中村リーダー: 日本語版は 1/27 に Fix。英訳が 2/10 に上がるとしたら、翌週 3-4 営業日で確認する。2/17 完了予定。

NEC 里田氏: 図は fix しようと思っている。これに伴って 6.6.4 章のレジリエンスの内容が少し変わると思う。日本語版は 1/27 まで、NICT にお願いしようと思っている。この辺を相談させてもらうかもしれないので交流会をお願いしたい。

中村リーダー: 最後に事務局から全体日程のまとめがあると思うので、そこで確認する。

KDDI 高木氏: 6.3 章は若干穴埋めするところがあるものの、1/27 までに皆さんからご意見なければこれで Fix する。平行して英訳は進めていただいて問題ない。

事務局 三宅氏: 既に発注したものは 2/10 納期。1 日は事務局が体裁等を確認する。追加分はビジョン作業班分を含めて、2/10 納期で翻訳業者と調整する。分量が多いため、若干ずれる可能性はある。

中村リーダー: 概要スライドは 2/28 までに作成する。ネットワークとリーダーチャートの図が少し変更になる程度なので、自分で作業してサーバに格納する。アネックスについては、別途メールで相談させていただくかもしれない。

KDDI 小西氏: 6.1 章のタイトルが長いが、これは皆さんの総意か。

中村リーダー: もっとよい提案があれば変更する。どこかの目次に AI などを入れた方がよいという意見があったので、ここに記載した。

KDDI 小西氏: AI を入れた方がよいのはなぜか。

中村リーダー: 海外の白書などでは、AI やセンシングがキーワードとして入っているので、2.0 版で入れた方がよいという意見があった。既書いてあるものをオーバービューとしてまとめて、それを目次で見分けるようにするために、6.1 章に記載した。目次は 2 桁の項目までしか入れられないため。

KDDI 小西氏: 確かに AI/ML は重要な技術だが、他にもいろいろとある。Beyond 5G と関連技術とかでまとめてもよいと思う。また、ビジョン作業班の目次に比べて非常に長いのでアンバランスにならないか。

(案)

中村リーダー: 1/27 まで、できる範囲で検討する。

(5) 周波数作業班

本多リーダーより、資料 06\_1~3 に沿って説明が行われた。

白書 2.0 の原稿案(日本語版、英語版両方)について照会が行われた。原稿案への修正、コメント等は 1/27 までとし、スケジュール通りに日本語、英語とも 1/27 に作業完了する予定とした。概要の PPT についても更新案について照会がなされ、2/28 期限までに最終化させることとした。

主な質疑は以下のとおり。

本多リーダー: 今後、APG23-5 の結果について数行追加することを考えている。

富士通 中村: 実際に反映するのはどのタイミングとなるのか?

本多リーダー: 会合は 20~25 日なのでその後の対応となる。25 日以降に早急に検討して追記できるようであれば対応予定である。

(6) 白書 2.0 版リリースイベントについて

事務局より日程は 3 月 13 日午後実施の旨周知、内容詳細別途 臨時幹部会にて議論予定である旨を報告。

(7) 今後のスケジュール

事務局より資料「07\_今後のスケジュール」に沿って説明がなされた。

特に質問はなし。

次回会合は 2 月 28 日(火) 15:00 から開催予定。

\* 後日、3 月 7 日(火)に延期。

以上